
汚人物語

夢の旧作

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

汚人物語

【Nコード】

N1434A

【作者名】

夢の旧作

【あらすじ】

主人公はリストラされたホームレス。ある日、ゴミ箱をあさっているとき奇妙な双眼鏡を発見する。その双眼鏡は他人の運命が覗けるという物であった……。

プロローグ

暑い……この言葉でしか形容出来ないのがもどかしいぐらいに暑い。汗はとめどなく流れてくる。

さっき涼んでいたコンビニから追い出された。

私が普通の格好でいたらそんな事は無かっただろうが……。

私は浮浪者。よく言うホームレスというやつだ。特に珍しい理由からなった訳でもなく、ただ不況の波に飲まれてリストラされてしまったからだ。人生というものはどれだけ努力しても報われない事の方が多い訳で、全ては『運命』によって操作されているのである。

この運命には絶対に逆らえないもので、産声をあげた時から最期まで何もかも始めから定められているのだ。ただ誰もその事実を知らず「人生はギャンブル」

だ等と言う。何が起こってどうなるかなんて全て決まっているのに。

双眼鏡

私はする事も無く、じっとしていても汗が流れるだけなので、とりあえず動く事にした。

とは言え私がする事は『ゴミ箱あさり』ぐらいのものであるのだが。

私は、手始めに近くにあるゴミ箱をあさった。

ホームレスがゴミ箱をあさっていても誰も変な目で見える事はない。ホームレスはそういう生き物だと思われるからだ。

ホームレスなんてものは偏見の塊で見られるのだ。

私は手を突っ込みながらガサガサした、雑誌が手に当たった。取り出してみるとそれは今日発売の週刊誌であった。

今日発売の物であれば安くして道行く人に売る事が出来る。

私は週刊誌を自分の鞆に入れた。

この鞆は拾った物であるが、ボストンバッグで強度があり、容量もあるので愛用している。

なおもゴミ箱をあさり続け、めばしい物は取り付くしたと思いい手を抜こうとしたその時、手にプラスチックの様な物が当たった。ペットボトルか何かだろうと思いつながらも掴んでみると形状が違ったので取り出してみるとそれは双眼鏡であった。

「双眼鏡が捨ててあるなんて珍しいな」

私はそう一人事を洩らしながら影のある方へ歩いていった。

私は影を見つけ、そこに座り込んだ。

そして何気無く、拾った双眼鏡で通り行く人々を眺めたのだが、驚いてすぐに離してしまった。

双眼鏡に映っているのは、何か異様な感じのものであった。

ある手を繋いで歩いているカップルを双眼鏡で見ると、そこには女の方が男に殺される情景がありのままに映されているのだ。

「何だこの双眼鏡は……」

私は何かしら、一種の恐怖を覚えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1434a/>

汚人物語

2010年12月31日02時32分発行